



第25回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム 新設：機械学会セッションでの発表募集

■趣旨

日本機械学会では、20部門中12部門の分野横断的・新領域対応型研究活動組織として、2006年12月に「マイクロ・ナノ工学専門会議」を設置し、機械工学が主体的に寄与すべき、マイクロメートル、ナノメートルの領域における基幹技術の情報交流を始めています。一方、電気学会センサ・マイクロマシン部門では、「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムを毎年開催し、学際的な領域にあるセンサ・マイクロマシン技術のさらなる発展を目指していますが、今回は25回記念ということでマイクロ・ナノ分野の電気系、機械系の研究者が集い討議を行う会議を目指し、「機械学会セッション」を設けることになりました。

つきましては、マイクロ・ナノ工学専門会議関連部門の会員の方々には是非ご投稿頂いて、従来の学会の枠を超えた、機械系と電気系、基礎領域と応用領域の議論にご参加頂ければ幸いに存じます。当シンポジウムは、センサ・マイクロマシンに関する国内で最大の会議となっていますので、当該分野の最新情報を入手することができます。また、開催場所は、砂浜に面した沖縄コンベンションセンターとなっており、快適に会議をお過ごし頂けます。なお、昨年東京で開催された第24回シンポジウムの概要は、http://www2.iee.or.jp/~smas/Sensor_Sympo/24/index.html でご覧になれます。

■会場 沖縄県宜野湾市 沖縄コンベンションセンター (<http://www.oki-conven.jp/>)

■期間 平成20年10月22～24日（機械学会セッションは、10月23日）

■期日 講演申し込み〆切：平成20年6月26日（木）

原稿〆切：平成20年8月13日（水）

■参加登録料 会員事前 25,000円、会員当日 35,000円、非会員事前 30,000円、非会員当日 35,000円、学生 5,000円 ※機械学会員は、会員扱いになります。

■参加者数 約330名（第24回シンポジウム実績）

■機械学会セッションHP <http://www.jsme.or.jp/mnm/news/20081022.html>

■会議HP <http://www.conferences.jp/SS25JP/>

■機械学会セッションの企画

A) キーノート（敬称略） 質疑含め各50分

1) 高木 周（東京大学）

『マイクロ分散相の流体力学：マイクロ流体の数値解析はどこまで信頼できるか？』

2) 長坂 雄次（慶應義塾大学）

『マイクロ・ナノスケールの熱物性センシングとその応用』

3) 北村 隆行（京都大学）

『ナノ構造体の破壊の実験観察と強度評価シミュレーション』

B) 一般講演（機械学会、電気学会の合同ポスターセッション）

機械学会、電気学会の双方から30～40件ずつを予定。

※機械学会セッションとは別に、電気学会のセッションとして、招待講演3件、口頭発表約80件、国際セッション発表9件が予定されています。

■投稿方法

添付の講演申し込み用紙を、日本機械学会事務局（担当者：熊谷理香、kumagai@jsme.or.jp、FAX: 03-5360-3509）宛てに、FAXあるいはメール添付で送付。

■原稿について

1ページの和文アブストラクトと2ページの英文原稿を作成いただきます。双方とも第25回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム概要集、講演論文集に合本されて印刷されます。

問い合わせ先

機械学会セッション担当委員 鈴木 雄二（東京大学） ysuzuki@thtlab.t.u-tokyo.ac.jp

日本機械学会事務局 熊谷 理香 kumagai@jsme.or.jp

